

## ＜シラバス＞

<b>科目名</b>	<b>1. 職務の理解【6時間】</b>	
<b>目標</b>	研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的イメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようにする。	
<b>科目の細目</b>	<b>多様なサービスの理解（2時間）</b>	
	講義・演習の内容、実施方法	<p>＜講義＞ 介護保険サービス（居宅、施設）、介護保険外サービスの概要を説明する。</p>
<b>科目の細目</b>	<b>介護職の仕事内容や働く現場の理解（4時間）</b>	
	講義・演習の内容、実施方法	<p>＜講義＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事について説明する。</li> <li>・居宅、施設の実際のサービス提供現場の様子について、視覚教材（DVD）を用いて紹介する。</li> <li>・ケアプランの位置づけに始まるサービスの提供に至るまでの一連の業務の流れとチームアプローチ、他職種、介護保険外サービスを含めた地域の社会資源との連携について説明する。</li> </ul> <p>＜演習＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚教材（DVD）鑑賞後、その後の感想を個人ワークで記入し、グループで話し合う。</li> </ul>
	使用する機器・備品	視聴覚教材（DVD）、パソコン、プロジェクター、スクリーン、スピーカー

## ＜シラバス＞

<b>科目名</b>	<b>2. 介護における尊厳の保持・自立支援【9時間】</b>	
<b>目標</b>	介護職が、利用者の尊厳ある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点及びやってはいけない行動例を理解できるようにする。	
<b>科目の細目</b>	<b>人権と尊厳を支える介護（6時間）</b>	
	講義・演習の内容、実施方法	<p>＜講義＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権と尊厳保持についての基本的な考え方について説明する。</li> <li>・虐待防止、身体拘束禁止について、説明する。</li> <li>・権利擁護の制度について、簡単に説明する。</li> </ul> <p>＜演習＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権と尊厳保持について、事例にもとづきグループワークを行い、尊厳という概念に対する気づきを促す。</li> <li>・虐待防止、身体拘束について、事例にもとづきグループワークを行い、それぞれに対する理解を促す。</li> </ul>
<b>科目の細目</b>	<b>自立に向けた介護（3時間）</b>	
	講義・演習の内容、実施方法	<p>＜講義＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノーマライゼーション、ICF、QOL、自立支援について基本的な考え方を説明する。</li> <li>・介護予防の考え方について説明する。</li> </ul> <p>＜演習＞</p> <p>自立支援、介護予防それぞれの事例に基づきグループワークを行う。</p>
	使用する機器・備品	パソコン、プロジェクター、スクリーン

## ＜シラバス＞

<b>科目名</b>	<b>3. 介護の基本【6時間】</b>	
<b>目標</b>	介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策うち重要なものを理解できるようにする。 介護を必要としている人の個性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉えることができるようにする。	
<b>科目の細目</b>	<b>介護職の役割、専門性と多職種との連携（2時間）</b>	
	講義・演習の内容、実施方法	＜講義＞ ・介護環境の特徴と地域包括ケア（地域包括支援センターの業務を中心に）について説明する。 ・介護の専門職としての関わり方やチームアプローチについて説明する。 ・医療、看護等多職種との連携の重要性と介護職の役割について説明する。
<b>科目の細目</b>	<b>介護職の職業倫理（2時間）</b>	
	講義・演習の内容、実施方法	＜講義＞ ・専門職の職業倫理、介護の倫理の意義を説明する。 ・介護職の社会的責任について説明する。 ・プライバシーの保護、尊重について説明をする。  ＜演習＞ 事例をあげて介護職の基本的態度、専門職としての倫理、人権の尊重、プライバシーの保護についてグループワークをおこなう。
<b>科目の細目</b>	<b>介護における安全の確保とリスクマネジメント（1時間）</b>	
	講義・演習の内容、実施方法	＜講義＞ ・事故に結びつく要因を探り対応していく技術や、リスクとハザード等、介護における安全の確保を説明する。 ・リスクマネジメントやその分析手法と視点等、事故予防と安全対策について説明する。  ＜演習＞ ・危険予測について、具体的な事例を用いてグループワークを行う。
<b>科目の細目</b>	<b>介護職の安全（1時間）</b>	
	講義・演習の内容、実施方法	＜講義＞ ・介護職の心身の健康管理について説明する。 ①介護職の健康管理が介護の質に影響②腰痛の予防に関する知識③ストレスマネジメント④手洗い、うがいの励行⑤手洗いの基本⑥感染症対策 ・労働基準法について説明する。 ①労働者としての介護職②介護職の立場③労働者としての介護職の権利と法④訪問介護員の労働時間として認められる業務（移動時間・業務報告書等の作成時間・待機時間・研修時間）  ＜演習＞ ・すべての職員が生き生きと働くための方策として、メンタルヘルスクーアを職場内で行うことにより、かなりの改善効果が得られることを実感していただき、さらに、自分自身でリラックス方法を見つけることができるようになる演習を行う。 ①セルフケア（ストレスの気づき・対処）②ラインによるケア（職場環境の改善・相談への対応） ・リスクアセスメントの導入及び手法について演習を行う。
	使用する機器・備品	模造紙、マジック、付箋

## ＜シラバス＞

<b>科目名</b>	<b>4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携【9時間】</b>	
<b>目標</b>	介護保険制度や障害者自立支援制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について、その概要のポイントを列挙できるようにする。	
<b>科目の細目</b>	<b>介護保険制度（3時間）</b>	
講義・演習の内容、実施方法	<p>＜講義＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険制度創設の背景・経緯・目的・動向について説明する。</li> <li>・介護保険制度の基本的仕組み、保険給付とその種類、要介護・要支援認定の手順、利用者負担、地域支援事業について説明する。</li> <li>・制度を支える組織・団体の機能と役割、および財源について説明する。</li> <li>・介護保険制度におけるケアマネジメントについて説明する。</li> </ul> <p>＜演習＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の事例を用いてどのようなサービスプランが考えられるかグループワークを行う。</li> </ul>	
<b>科目の細目</b>	<b>医療との連携とリハビリテーション（3時間）</b>	
講義・演習の内容、実施方法	<p>＜講義＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医行為について、吸引器、パルスオキシメーターなどを実際に見る。</li> <li>・介護福祉士等が行う医行為について説明する。</li> <li>・在宅サービス、施設サービスにおける連携、多職種協働の連携の取り方について説明する。</li> <li>・生活の質(QOL)とは何か説明する。</li> <li>・リハビリテーションとは何か、その理念と目的について説明する。</li> <li>・リハビリテーションに必要な職種について説明する。</li> </ul>	
<b>科目の細目</b>	<b>障害者自立支援制度及びその他制度（3時間）</b>	
講義・演習の内容、実施方法	<p>＜講義＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者福祉制度の理念・障害者自立支援制度の仕組みの基礎的理解について説明する。</li> <li>・個人の権利を守る代表的な制度の目的や内容について、視聴覚教材(DVD)を用いながら説明する。</li> </ul>	
使用する機器・備品	マジック、体温計、血圧計、吸引機、パソコン、プロジェクター、スクリーン	

## ＜シラバス＞

<b>科目名</b>	<b>5. 介護におけるコミュニケーション技術【6時間】</b>	
<b>目標</b>	高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションをとることが専門職には求められていることを認識し、初任者として最低限の取るべき(取るべきでない)行動例を理解できるようにする。	
<b>科目の細目</b>	<b>介護におけるコミュニケーション（3時間）</b>	
	講義・演習の内容、実施方法	<p>＜講義＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割について説明する。</li> <li>・基本的なコミュニケーション上のポイントを説明する。</li> <li>・家族の心理と介護における相談援助の重要性を説明する。</li> </ul> <p>＜演習＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワークにより事例をもとに、コミュニケーションの技法、道具を用いたコミュニケーションを体験しながら理解を深める。</li> <li>・グループワークにより事例をもとに、利用者、家族との対応について理解を深める。</li> </ul>
<b>科目の細目</b>	<b>介護におけるチームのコミュニケーション（3時間）</b>	
	講義・演習の内容、実施方法	<p>＜講義・演習＞</p> <p>記録における情報の共有化について具体的な事例を用いて説明する。報告、連絡、相談について、簡単なワークシートを作成する。コミュニケーションを促す環境について、具体的な事例を用いて説明し、実際に体験する。</p>
	使用する機器・備品	パソコン、プロジェクター、スクリーン

## ＜シラバス＞

<b>科目名</b>	<b>6. 老化の理解【6時間】</b>	
<b>目標</b>	加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解できるようにする。	
<b>科目の細目</b>	<b>老化に伴うところとからだの変化と日常（3時間）</b>	
	講義・演習の内容、実施方法	<p>＜講義＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老年期の発達とところの変化について、具体的事例を用いて説明する。</li> <li>・老化に伴う心身機能の変化と日常生活への影響について、具体的事例を用いて説明する。</li> </ul> <p>＜演習＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理解できたことをグループワークで話し合う。</li> </ul>
<b>科目の細目</b>	<b>高齢者の健康（3時間）</b>	
	講義・演習の内容、実施方法	<p>＜講義＞</p> <p>高齢者に多い疾病の種類と、その症状や特徴及び治療・生活上の留意点、及び高齢者の疾病による症状や訴えについて説明する。</p>
	使用する機器・備品	パソコン、プロジェクター、スクリーン

## ＜シラバス＞

<b>科目名</b>	<b>7. 認知症の理解【6時間】</b>	
<b>目標</b>	介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護する時の判断の基準となる原則を理解できるようにする。	
<b>科目の細目</b>	<b>認知症を取り巻く状況（1時間）</b>	
	講義・演習の内容、実施方法	＜講義・演習＞ 認知症ケアの理念についてロールプレイを行い認知症の人の立場、気持ちを考える。
<b>科目の細目</b>	<b>医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理（2時間）</b>	
	講義・演習の内容、実施方法	＜講義＞ 医学的側面から見た認知症の基礎的理解について、具体的事例を用いて説明する。
<b>科目の細目</b>	<b>認知症に伴うところとからだの変化と日常生活（2時間）</b>	
	講義・演習の内容、実施方法	＜講義＞ 認知症に伴うところとからだの変化について、具体的な事例を用いて説明する。  ＜演習＞ 認知症の人の対応について、事例にもとづいてロールプレイを行い、認知症の人の気持ちを考える。
<b>科目の細目</b>	<b>家族への支援（1時間）</b>	
	講義・演習の内容、実施方法	＜講義・演習＞ 実際の具体例事例や、本人や家族の思いを紹介しながら、家族への理解を説明し、グループワークで感じたことを話し合う。
	使用する機器・備品	パソコン、プロジェクター、スピーカー、スクリーン、マジック、付箋紙

## ＜シラバス＞

<b>科目名</b>	<b>8. 障害の理解【3時間】</b>	
<b>目標</b>	障害の概念とICF、障害者福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解できるようにする。	
<b>科目の細目</b>	<b>障害の基礎的理解（1時間）</b>	
	講義・演習の内容、実施方法	<p>＜講義・演習＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害の概念とICF(障害とは 障害の構造的理解 障害の受容)</li> <li>・障害者福祉の基本理念(ノーマライゼーションの概念 リハビリテーションとは インクルージョンとは) (基本講義、一部意見交換を取り入れる。)</li> </ul>
<b>科目の細目</b>	<b>障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的理解(1時間)</b>	
	講義・演習の内容、実施方法	<p>＜講義・演習＞</p> <p>各障害の特徴と支援について説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知的障害</li> <li>・精神障害(精神疾患 高次脳機能障害 発達障害)</li> </ul> <p>(基本講義、一部意見交換を取り入れる。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体障害、その他の心身機能障害</li> </ul> <p>(具体的事例にもとづいて説明する。事例を用いて当事者の気持ちについて話し合う。)</p>
<b>科目の細目</b>	<b>家族の心理、かかわり支援の理解（1時間）</b>	
	講義・演習の内容、実施方法	<p>＜講義＞</p> <p>障害の受容、家族への支援について、具体的事例を用いて説明する。</p> <p>＜演習＞</p> <p>理解できたことを話し合う。</p>
	使用する機器・備品	DVD、パソコン、プロジェクター、スピーカー、スクリーン



## ＜シラバス＞

<b>科目名</b>	<b>9. こころとからだのしくみと生活支援技術【75時間】</b>	
<b>目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法を理解し、基礎的な一部又は全介助等の介護が実施できるようにする。</li> <li>・尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得できるようにする。</li> </ul>	
	<b>■基本知識の学習 &lt;10時間&gt;</b>	
<b>科目の細目</b>	<b>介護の基本的な考え方（2時間）</b>	
	講義・演習の内容、実施方法	<講義> ICFの視点に基づく生活支援、法的根拠に基づく介護、理論に基づく介護、介護保険制度下のサービスについて、事例を示しながら説明をする。
<b>科目の細目</b>	<b>介護に関するこころのしくみの基礎的理解(2時間)</b>	
	講義・演習の内容、実施方法	<講義・演習> 高齢者の心理、自己実現と生きがいづくりについて説明する。 事例にもとづき高齢者の心理について具体的に理解し、生きがいづくりについて話し合う。
<b>科目の細目</b>	<b>介護に関するからだのしくみの基礎的理解(6時間)</b>	
	講義・演習の内容、実施方法	<講義・演習> ・人体の各部の名称と働きに関する基礎知識、骨・関節・筋に関する基礎知識、中枢神経系と体性神経に関する基礎知識、自律神経と内部器官に関する基礎知識を介護の流れに沿って説明する。 ・バイタルサインについて説明し、観察ポイントを体験する。 ・身体の動きの基本、ボディメカニクスの原則と介護への活用について説明し、実際の動きの中で確認する。 ・基礎的知識の理解度について確認するため、筆記による小テストを実施する。
	使用する機器・備品	パソコン、プロジェクター、スクリーン、ベッド

## ＜シラバス＞

<b>■生活支援技術の学習＜53時間＞</b>		
科目の細目	<b>生活と家事（3時間）</b>	
講義・演習の内容、 実施方法	<p>＜講義＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家事援助の必要性と目的、信頼関係の構築と秘密保持、利用者の価値観に合わせた生活について説明する。</li> <li>・家事援助の際の自立支援、家事援助の基本的な方法について説明する。</li> <li>・掃除・洗濯・被服補修に関する基礎知識と支援について説明する。</li> </ul> <p>＜演習＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護食を試食し、実際の調理メニューを考える。</li> <li>・手縫いの基本的な方法を実際に裁縫して習得する。</li> </ul>	
科目の細目	<b>快適な居住環境整備と介護（2時間）</b>	
講義・演習の内容、 実施方法	<p>＜講義＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住環境整備、福祉用具の活用について事例を用いて説明をする。</li> </ul>	
科目の細目	<b>整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護（6時間）</b>	
講義・演習の内容、 実施方法	<p>＜講義＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整容の意義について説明する。</li> <li>・衣服着脱の介護に必要な基礎知識と整容の支援技術について説明する。</li> <li>・身体状況に合わせた衣服の選択と着脱、自立への援助やQOLの向上について説明する。</li> </ul> <p>＜実技演習＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体状況の確認、室内環境の調整、必要物品の準備を行う。整容の支援技術についての実技を行う。</li> <li>・「脱建着患」の基本に沿って着脱の実技を行う。</li> </ul> <p>(指導体制 2人)</p>	
科目の細目	<b>移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護(15時間)</b>	
講義・演習の内容、 実施方法	<p>＜講義＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動、移乗に関する用具や機器・車椅子の基本的な使用方法について説明する。</li> </ul> <p>＜実技演習＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ単位で移動、移乗に関する介護技術(体位・姿勢・歩行(身体、視覚障害)・車椅子)の実技を行う。</li> </ul> <p>(指導体制 2人)</p>	
科目の細目	<b>食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護（6時間）</b>	
講義・演習の内容、 実施方法	<p>＜講義＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事に関するからだのしくみについて説明する。</li> <li>・口腔ケアの意義・口腔の仕組みとはたらき・口腔ケアの基本と実際について説明する。</li> </ul> <p>＜演習＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ単位で障害に応じた食事介助の実技を行う。</li> <li>・口腔ケアの実際とはどういうものか相互実習により、実感してもらう。</li> </ul> <p>(指導体制 2人)</p>	

## ＜シラバス＞

科目の細目	<b>入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護（9時間）</b>	
	講義・演習の内容、実施方法	<p>＜講義＞ 入浴、清潔の意味、入浴に関するからだのしくみについて説明する。</p> <p>＜演習＞ ・グループ単位で家庭浴・機械浴の介護技術を行う。 (指導体制 2人)</p>
科目の細目	<b>排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護(6時間)</b>	
	講義・演習の内容、実施方法	<p>＜講義＞ ・排泄に関するところとからだのしくみについて説明する。 ・排泄に関連した用具の使い方を説明する。</p> <p>＜実技演習＞ ・グループ単位で排泄に関する介護技術(おむつ交換、ポータブルトイレ、陰部洗浄等)を行う。 (指導体制 2人)</p>
科目の細目	<b>睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護(3時間)</b>	
	講義・演習の内容、実施方法	<p>＜講義＞ 睡眠の意味と睡眠に関するからだのしくみについて説明する。</p> <p>＜実技演習＞ グループ単位で介護技術(ベッドメイキング等)を行う。 (指導体制 2人)</p>
科目の細目	<b>死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護(3時間)</b>	
	講義・演習の内容、実施方法	<p>＜講義＞ ・ターミナルケアの考え方、終末期の高齢者の死に至る過程について説明する。 ・ターミナルケアの本人、家族への対応の仕方と介護職の役割を説明する。 ・ターミナルケアの留意点と多職種との連携について説明する。</p>
	使用する機器・備品	<p>ベッド、介護食(レトルト)、タオル、バスタオル、視聴覚教材(DVD)、DVDデッキ、プロジェクター、スピーカー、スクリーン、寝巻き、パジャマ、トレーナー、寝具一式、高齢者疑似体験道具、視覚障害者体験道具、車椅子、ポータブルトイレ、紙おむつ、パット(女性用、男性用)、フラット、プラスチック手袋、陰洗用ボトル、ポリ袋、はさみ、バケツ、レジャーシート、トイレトーパーパー、シャンプー、ボディソープ、洗髪器、空きペットボトル、食事介助用食材、特殊食器、スプーン、紙コップ、鏡、染めだし綿棒、ビニールテープ、カッター、クラッカー(口腔用)等</p>
<b>■生活支援技術演習&lt;12時間&gt;</b>		
科目の細目	<b>介護過程の基礎的理解（3時間）</b>	
	講義・演習の内容、実施方法	<p>＜講義＞ ・介護過程の目的、意義、展開(情報収集、介護計画立案、実践評価等)、チームアプローチについて説明する。 ・事例にもとづき、介護過程の展開が利用者の自立生活に効果を上げているか考える。</p>
科目の細目	<b>総合生活支援技術演習（9時間）</b>	
	講義・演習の内容、実施方法	<p>＜実技演習＞ 事例の高齢者の心身状態に合わせ、どのような介護技術を使ったらよいか、以下の順序で行う。 ①事例の概要 ②生活状況、利用者の状態像の把握、分析 ③適切な支援技術の検討 ④支援技術演習⑤支援技術の課題 ・個人ワーク後、グループで検討する。 ・事例は高齢(要支援2程度、認知症、片麻痺、座位保持不可)から2事例を選択して実施する。 (指導体制 2人)</p>
	使用する機器・備品	<p>ベッド、タオル、バスタオル、視聴覚教材(DVD)、DVDデッキ、寝巻き、パジャマ、トレーナー、寝具一式、歩行器、杖、車椅子、ポータブルトイレ、紙おむつ、パット(女性用、男性用)、フラット、プラスチック手袋、陰洗用ボトル、ポリ袋、はさみ、バケツ、やかん、レジャーシート、トイレトーパーパー、シャンプー、ボディソープ、洗髪器、空きペットボトル、食事介助用食材、とろみ剤等</p>

## ＜シラバス＞

<b>科目名</b>	<b>10. 振り返り【4時間】</b>	
<b>目標</b>	研修全体を振り返り、本研修を通して学んだことについて再確認を行うとともに、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる。	
<b>科目の細目</b>	<b>振り返り（2時間）</b>	
	講義・演習の内容、実施方法	<p>＜演習＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修を通して学んだこと(自己評価)、今後継続して学ぶ出来ことについて、個人ワークにより記入する。その後、グループディスカッションし、発表する。</li> </ul> <p>＜講義＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の生活を支援する根拠に基づく介護の要点について説明し、再確認を促す。</li> </ul>
<b>科目の細目</b>	<b>就業への備えと研修修了後における継続的な研修(2時間)</b>	
	講義・演習の内容、実施方法	<p>＜講義＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的に学ぶべきことについて、説明する。</li> <li>・研修修了後における継続的な研修について、具体的にイメージできるような事業所等における実例を紹介する。</li> </ul> <p>＜演習＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職の仕事内容や働く現場、事業所等における研修の実例等について、視覚教材(DVD)鑑賞後、次のステップへの課題等について、グループディスカッションを行う。</li> </ul>
	使用する機器・備品	視聴覚教材(DVD)、パソコン、プロジェクター、スクリーン、スピーカー